

第2学年 国語科

児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞</p> <p>○話す・聞く：話すことに関しては、事柄の順序を考えながら話すことはできるようになってきている。話の聞き取りについては大事な事を落とさずに聞き取りができることについて習熟度に個人差がある。</p> <p>○書く：経験したことを順序を考えてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになってきた。会話文を入れて書く等表現をふくらます事には個人差がある。</p> <p>○読む：事柄の順序や場面の様子を読み取る力は付いてきているがまだ十分ではない。</p> <p>○言語：漢字の読みはできるが、書くことについては（習う量が多いこともあり）不十分。</p>

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]</p> <p>教師が決めた課題に取り組んでいる。</p>	<p>[指導]</p> <p>児童自らが課題を見つける場も設ける。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>漢字指導の習熟については、可能な部分で個別指導をさらに取り入れていく。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>一斉授業の形態と、小グループ学習の形態を使い分けている。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>小グループ学習の形態での授業経験をさらに積ませる。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>発問・指示はなるべく短く分かりやすいように心掛けている。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>板書に関しては、内容に応じて様々な書き方ができるように工夫する。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>読書が好きな児童が多いので、読み聞かせなどの時間をさらに充実させていく。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>教科書教材を使って指導をしている。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>扱う内容をふくらませるような教材を副教材として活用する。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>主に、市販の評価テストを使つての評価が中心になっている。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>授業中の形成的な評価も取り入れて評価を行う。</p>	
<p>＜評価・修正＞</p>		
<p>[評価]と [修正]○ 聞く一話の聞き取りについては継続的に指導し成果を上げたが、個別指導を必要とする児童もまだいる。引き続き継続的に指導する。</p> <p>○書く一書く量は増えてきた。比較的短い文章なら話の順序に従って文章を書くことができるようになった。○言語—漢字の習熟については概ね達成できた。送りがなの指導がやや不十分であり、今後も引き続き指導をする。</p>		

第2学年 算数科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析> 観点別結果の分析</p> <p>○【技能】たし算・ひき算の計算処理、筆算の仕方の定着については概ね達成できている。</p> <p>【思考】文章問題の課題解決に関して、テープ図などを用いて問題を解いていく事がやや苦手な児童がいる。</p> <p>【知識・理解】十進位取り記数法の基礎的な知識は身に付いてきている。時間・時刻の計算など十進数ではないものの仕組みの理解が十分でない。</p>

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>課題を一つ一つていねいに提示し、解決させている。</p>	<p>[指導]</p> <p>問題の提示の際になるべく具体物・半具体物を使って提示するように今後も心がける。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>繰り返し練習のできるドリル等を使って、学習内容の定着を図る。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>各クラス均等3分割のうちの1グループが少人数学級に分かれるようにローテーションを組んで指導している。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>少人数学級の先生とできる限り連絡を密にして今後も取り組んでいく。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>問題の意味が分かりやすい発問や問題の提示の仕方を工夫している。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>板書については、電子黒板等もさらに有効に活用して効果的に進めていく。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>問題づくりなど習ったことを生かして活動する場面をできるだけ取り入れる。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>具体物を操作する時間を確保し、数量に関する感覚を養うように配慮している。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>今後も具体物を操作する時間をできるだけ確保して授業を進めていく。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>主に、市販の評価テストを活用して評価をしている。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>授業中の評価活動を生かし、個別指導を重視していく。</p>	
<p><評価・修正></p> <p>[評価]と[修正]</p> <p>○具体物・半具体物の活用一年間を通して場面においては積極的に使い、操作活動も増やした。○少人数指導の体制に関しては、個別指導の充実という面で成果を上げた。○電子黒板は効果的に活用することができたが、教室を暗くしないと見えにくいという欠点がある。</p>		

第2学年 生活科

児童の実態（7月現在）

実態の分析＞ 観点別結果の分析

○【**関心・意欲・態度**】体験活動を通し、身近な人々や社会、自然との関わりに高い関心を持って学習している。特に地域への関心は驚きを持って発見をしてきており、さらに高まっている。

○【**思考・表現**】自分の生活を振り返り、将来の夢を膨らませたりしている児童も多いが、個人差も大きい。

○【**気付き**】植物の成長の土作りや水の大切さに体験的に良く気が付いている。自分も同じように成長していることに気が付く児童もいる。普段何気なく過ごしていた地域の人々の活動に感動を持って気付いている。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
[課題設定] 主体的な活動となる課題設定の工夫	[指導] 各単元の学習のめあてを明確にし、児童に目的意識を持たせる。学級の実態に応じた課題を設定する。	[補充的な学習指導] 具体的な課題解決のための言葉かけ。個々の話を聞き、適切な内容の精査と助言。
[学習形態] 学習形態の基礎を学ぶ。 課題に対してどのような形態が適切か考察し、それぞれの話し合いの仕方を具体的に学ぶ場の設定。	[学習形態の工夫] 学級の実態を踏まえ学習内容に適した形態の工夫。個人、班活動（司会やまとめ方の基礎の学習を含む）等の工夫。	
[発問・指示・板書計画] 課題に対して情報処理の仕方を具体的に学ぶ。	[発問・指示・板書の工夫] どの児童にも分かり易い発問の工夫。児童の発言や思いが十分表現され、思考に沿って整理された板書の工夫。	[発展的な学習指導] 児童の思考に沿って、さらに発展した学習となるよう、学び合える活動の場の設定。自由記述や調べ学習による作成物をまとめられるよう余裕を持った学習シート等の作成。皆に情報発信できる場の創設。
[教材の活用] 課題に対して、適切な教材を選ぶ。	[教材の工夫] 教科書を参考にするが、児童の発想や考えを踏まえ自由な発想が育つ環境整備と教材の工夫。関係図書の整備（図書館司書との連携）	
[評価の方法] 課題に対して、各々どのように思考したか把握できる評価。	[評価の工夫] 個々の思考の分かる記述式カードや発言内容、班活動の様子の見取り。	

<評価・修正>

[評価]と**[修正]**○児童は、課題解決では、その場にあった学習形態とは何か児童自ら考え、選ぶことを繰り返し、いろいろな学習形態を理解してきた。その過程で、話し合いの仕方やまとめ方のスキルは向上し効果を上げた。○学び合う上で知識や思考力に個人差が大きい中、違った意見でも耳を傾け相手を尊重する態度を養えるようにすることが課題である。

第2学年 体育科

<実態の分析>

観点別結果の分析

【技能】体の基本的な使い方に関しては、1年時より着実に進歩している。

【思考・判断】小集団のグループ別活動などを取り入れて、話し合い・教え合いなどの活動を大切にしている。

【態度】走ること・ボール等を使ったゲーム・鬼あそび・縄跳び・水泳など、習ったことを積極的に日常生活に生かすようにできている。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>	
[課題設定] 1単位時間の中で、できる喜びを味わうことができるような課題設定を工夫している。	[指導] 一人一人自分の課題が分かりやすいような課題提示の仕方を工夫していく。	[補充的な学習指導] 習ったことを日常も取り組めるような教材の用意などに配慮する。	
[学習形態] 内容に応じて、全体指導と個別の課題解決がしやすいように学習形態を工夫している。	[学習形態の工夫] 友達と協力をして課題解決ができる学習形態をさらに取り入れていく。		
[発問・指示・板書計画] 発問や指示は短く分かりやすくするように心がけている。安全上の配慮・指導もきちんとしている。	[発問・指示・板書の工夫] 発表ボード・作戦ボードなども適宜使っていく。		[発展的な学習指導] できるようになったことを皆の前でお互いに褒めることができるような時間を確保する。
[教材の活用] 児童一人一人が有効に活動ができるように教材の準備をしている。	[教材の工夫] さらに、安全に配慮した用具の準備など十分な下準備に心がける。		
[評価の方法] 内容ごとになるべく個別に評価ができるようにしている。	[評価の工夫] さらに個別指導にも配慮した評価ができるように努める。		
<評価・修正>			
[評価] と [修正] ○ 特に「体づくりの運動」「体ほぐしの運動」「マットを使った運動遊び」などの分野については校内研究と連携して児童の指導に還元することができた。○個別指導に関しては、指導者の安全上の配慮により十分に時間をとって指導ができない場面がいくつかあり、今後の課題とする。			

